



七夕は昔中国から日本に伝わった星祭りです。  
ひこ星と織りひめという男女の星が天の川をはさんで向かい合っていて、この2つの星が年に1度7月7日にだけ会えるという言い伝えから、祭りが始まりました。

はた織りが上手な神様の娘「おり姫」と働き者の牛飼いである「ひこ星」は神様の引き合わせで結婚し仲良く過ごしていましたが、楽しさのあまり仕事をせずに遊んでばかり、激怒した神様は天の川の両端に引き離してしまいました。悲しさのあまり元気がなくなった2人を見かね7月7日を年に1度だけ会える日として許しました。

皆様にもスキな思い出の出来がありますよね。  
私には空を見上げると言うと、ちょっとせつない思い出がもう数十年も前の話ですが、ひと目ぼれからつき合、始めた祖母がカナダ人のクォーターの娘がいました。しばらくつき合ったある時、祖母の国へ行ってみたいと、カナダへ行くことになりました。  
が...そのまま彼女は日本にもどることはなかったのです。しばらくの間飛行機を見上げると、カナダの空の下、彼女を思い出してしるう日々がありました。こゝろ人には楽しい思い出や、ちょっとせつない思い出が沢山ありますね。夏の夜8時ごろ東の空を見上げると、3つの明るい星が見られます。「夏のた三角」です。



夏の夜、東の空を見上げながら、ロマンチックな夜をお過ごし下さいませ♡